

第3回 経営強化のためのDXゼミ 製造業のための工場DXの進め方

日時：令和5年7月5日(水) 定員：70名
13:30～16:50 (受付13:00～)

場所：ホテルアバローム紀の国 2階 鳳凰の間

製造業の生産性向上を目的として、すでに多くの企業がIoTによる製造工程の「見える化」を進めてきている。しかし、その多くは「工場全体の生産性向上」を視野に入れず、最も容易なところから改善に着手しており、「部分最適化」は達成するものの「全体最適化」には至らず、その結果、工場全体の生産性向上が実現されていないことが多い。このような事態を避けるためには、改善・改革の着手前に、まず工場の最終的な「あるべき姿」を描いたうえで、ゴールを達成するための道筋を考え、最適なツールやシステムを計画的に逐次導入する という手順を踏むことが肝要である。

本セミナーでは工場DXを正しく推進するための手法を学ぶ目的で、IT業界から転じて製造業に身を置き、IT業界のカルチャーや手法によってDXに取り組まれている株式会社デンソー執行幹部の成迫剛志氏、製造DX実現に向けたアプローチを数多くの製造業に提供し成功を収めている 富士通株式会社クロスインダストリーソリューション事業本部 Advanced Manufacturing事業部の櫻井敦氏、製造業の中堅中小企業向けに、幅広く生産性向上や企業改革およびDX推進の支援を行っている ものづくりテラス代表、独立行政法人中小企業基盤整備機構チーフアドバイザーの林芳樹氏 にご登壇いただく。

時間	次第
13:30	開会挨拶
13:35 ～14:20	講演 ◆ 成迫 剛志 氏 株式会社デンソー 執行幹部 研究開発センター クラウドサービス開発部長 岐阜大学 客員教授 「変化に強い生産現場を実現するソフトウェアファーストとロボットセル」 (10分間 休憩・換気)
14:30 ～15:15	講演 ◆ 櫻井 敦 氏 富士通株式会社 クロスインダストリーソリューション 事業本部 Advanced Manufacturing事業部 シニアディレクター 「製造現場における製造DX推進とは？」 (10分間 休憩・換気)
15:25 ～16:25	講演 ◆ 林 芳樹 氏 ものづくりテラス 代表 日本生産管理学会 正会員、産業カウンセラー 「製造業DX化において生じる諸問題の克服法」
16:25	閉会挨拶・名刺交換・情報交換

※当日、会場内によろず支援拠点による個別経営相談コーナーを設置します。ご利用ください。

【問合せ・申込み先】

(公財)わかやま産業振興財団 地域活性化雇用創造プロジェクト 担当：田辺 田中 井上

〒640-8033 和歌山市本町二丁目1番地 フォルテワジマ6階

TEL：073-433-8556 / FAX：073-433-8557

E-mail：chi-pro@yarukiouendan.jp

※お申込み方法等につきましては、裏面をご覧ください。



【主催】和歌山県 / 公益財団法人わかやま産業振興財団 (地域活性化雇用創造プロジェクト)

【共催】和歌山県よろず支援拠点

講師紹介

成迫 剛志 氏

株式会社デンソー
執行幹部
研究開発センター
クラウドサービス開発部長
岐阜大学客員教授



新卒で日本IBMに入社、その後、伊藤忠商事に転じ、オープンシステム化、西暦2000年対応やインターネット関連ビジネスの立ち上げなどに携わる。2005年に香港に駐在、伊藤忠商事のIT事業会社の社長に就任し、アジア地域のITビジネスを展開。帰国後はSAPジャパン、北京大学方正集団、ビットアイル・エクイクスなど国内外のIT企業の役員を歴任し、2016年8月にデンソー入社。2017年4月にデジタルイノベーション室を新設し、同室長に就任。2018年4月新設のMaaS開発部長を経て、2021年1月から執行幹部。現在は研究開発センター・クラウドサービス開発部長。

櫻井 敦 氏

富士通株式会社
クロスインダストリー
ソリューション事業本部
Advanced Manufacturing
事業部
シニアディレクター



富士通株式会社入社後システムエンジニアとして、組立産業/プロセス産業を主体とした製造業の担当SEとなりキャリアをスタートし、その後製造業向けSCM(サプライチェーンマネジメント)ソリューションコンサル(生産、原価管理、計画等)として、長年SCM・ERP・IoTソリューションビジネスに携わる。特にSCM/計画系の業務プロフェッショナルとして数多くのソリューション導入を実践し、顧客の信頼を勝ち得ている。

林 芳樹 氏

ものづくりテラス 代表
日本生産管理学会正会員
産業カウンセラー



1973年富士通株式会社に入社。システムエンジニアとして、制御系システムの構築に関わる。その後、パナファコム株式会社(現株式会社PFU)に転籍。ミニコンのOSの開発や生産技術でのロボット制御開発に携わった後、工場の生産管理システム構築等に従事。1997年以降再度システムエンジニアとして一般企業のシステム、ロボット制御システム、生産管理など経営改革等を行ってきた。12年前に株式会社PFUを退職。現在は独立し、製造業の中堅中小企業向けに、生産性向上や企業改革、DX推進の支援等を行っている。

申込書

6月30日(金) 締切

右記あてに **FAX** または **メール**
にてお申込みください。

FAX:073-433-8557

E-mail: chi-pro@yarukiouendan.jp

※FAXの方は、下記申込書に必要事項を記入の上、送信してください。

※メールの方は、タイトルを「DXゼミ 申込み」とし、下記事項を本文に記入の上、送信してください。

企業/団体名		
住所・電話番号		〒
Eメール(代表の方)		
申込者	①氏名	
	所属・役職	
	②氏名	
	所属・役職	
よろず支援拠点への相談		希望する ・ 希望しない

※ご記入いただいた情報は、本ゼミに関する連絡・記録のために使用するほか、各種情報提供のために使用することがありますのでご了承ください。

会場案内

ホテルアバローム紀の国
2階会場「鳳凰の間」
(和歌山市湊通丁北2-1-2)

